



学校だより

「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
- 「徳」 自分を大切に、互いの違いを認め合える子を育てます。
- 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
- 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
- 「関」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

令和4年6月30日

横浜市立菅田の丘小学校

校長 若山 京子

7月号

〔文月 July〕

思いをもち、行動に移すことができる子に

副校長 白井 亮司

ここ数日、真夏を思わせるような暑い日が続いていたところ、関東地方は、過去最も早い梅雨明けとなりました。2年生が生活科で育てている野菜に、かわいらしいミニトマトやピーマン、ナス、オクラ、エダマメが実り始めました。子どもたちは、「家族に食べてもらうんだ。」「給食に出してほしいな。」などと、収穫できた嬉しさを話してくれます。

今年度は、3～6年で水泳の授業を行っています。例年であれば、シャワーの冷たさや水の気持ちよさからあがる歓声がプールから聞こえてきますが、今年度はほとんど聞こえてきません。どの子も感染症予防を意識し、必要のない話をしないなど、ルールを守り学習に取り組んでいます。気温が高くなり暑さ指数(WBGT)が基準を超え、暑すぎて水泳の学習ができない日もあります。感染症対策に加え熱中症予防のため、学校生活での制限がまだまだ続きます。今後も学校では、子どもたちの健康・安全を第一に考え、教育活動を進めてまいりますので、保護者、地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

本校の児童会年間テーマは「みんな花笑み だれもがかがやき あいさつあふれる 菅田の丘小学校をきずこう」です。このテーマに基づく活動として、児童運営委員会の提案で、あいさつ運動に取り組んでいます。その取組の一つとして「花笑みあいさつビンゴ」がありました。気持ちのよいあいさつについての九つのめあてについて、できたらシールを貼るとい



うものです。多くの学級で枠からあふれるほど、シールがたくさん貼られています。取組が進むにつれ、シールの数が増えるスピードが増してきました。恥ずかしくてなかなか自分からあいさつができなかった子も、この取組を通して、あいさつのよさに気づき、進んであいさつしようという思いをもててきたからだと思います。

また、このあいさつ運動を通して、子どもたちから「自分たちもあいさつ委員になって(門で)あいさつをしたい。」「毎朝、あいさつをする地域の方が、まちを掃除されているのを見たよ。なぜやっているのかな。」などという声が聞かれました。形としてあいさつをしているだけではなく、あいさつを通して、自分の行動や人とのかわり方についての考えを深めている子どもたちを素晴らしいと思います。

27日(月)には、「だれもが安心菅田の丘集会」を行いました。各学級でいじめや差別を許さない、みんなが安心できる学級や学校をつくるためのめあてや取組を話し合い、発表しました。この集会の終わりの言葉で運営委員の児童が「誰もが安心して過ごすことのできるクラスをつくるためには、一人ひとりの気持ちと行動が大切です。」「よいことを続けていきましょう。課題点については、一人ひとりの行動で変えていきましょう。」「そして誰もが安心して過ごせる菅田の丘小学校をつくっていきましょう。」と話しました。

今後も、よりよい学校をつくっていくための思いや考えを、行動に移していこうとする子どもたちを育て、支えていきます。ご家庭でも、「あいさつ運動」や「だれもが安心菅田の丘集会」について話題にいただき、子どもたちが人とのかわり方を考える機会をつくっていただきたいと思います。